

キャラクター名  
メリナ・ベル・クラリモンド

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー エンジェルハイロウ	ワークス	UGN支部長D	カヴァー	高校生
オプション		年齢	17(高3)	性別	女
覚醒	感染	衝動	吸血	初期侵食率	31%
出自	疎まれた子	経験	大勝利	邂逅	憧れ

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	18
感覚	5	0	3			8	(非装備時)	18
精神	2	0	0			2	戦闘移動	23
社会	0	1	0			1	全力移動	46

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	8		交渉	1	
回避			知覚			意志	3		調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:面影島	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:UGN幹部	
コネ:手配師	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
吸血鬼	P	N		
都築京香	P 執着	N 敵愾心		
みんな	P 幸福感	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
赤き聖餐	3	3	セットアップ	至近	単体	自動	D0イス	
効果:	対象の戦闘不能を回復, HPを[Lv*5]点回復, シーン1回							
紅の刃	1	1	Xジャー	視界	-	<RC>	-	
効果:	攻撃力+[Lv+1]							
コンセプト:ブラム=ストカー	2	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	C値-Lv(下限7)							
光の手	1	2	Xジャー/リア	-	-	<RC>	-	
効果:	【感覚】で判定を行う							
血の宴	3	3	Xジャー	-	範囲(選)	シンドローム	-	
効果:	範囲(選択)に変更する, シナリオLv回							
殺戮領域	1	3	Xジャー	-	-	シンドローム	リミット	
効果:	<血の宴>と組み合わせる, 攻撃力+10, シナリオLv回							
ブラッドバーン	3	4	Xジャー	-	-	シンドローム	80↑	
効果:	攻撃力+[Lv*4], HP5点消費							
不死者の恩寵	2	5	クリナップ	至近	自身	自動	-	
効果:	(Lv+2)D+【肉体】点回復,戦闘以外シーン1回							
鏡の盾	1	8	オート	効果	効果	自動	100↑	
効果:	受けたHPがXジャーの[Lv*20]点分まで与える							
メモリー	1							
効果:	恩人(アキト) 大好きな人							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								

金髪八重歯吸血鬼美少女  
我/お主  
誕生日: 4/22  
名前ネタ:  
メリナ→赤バラの品種メリナ  
ベル→フランス語で美人(Belle)  
クラリモンド→フランスの短編小説「死霊の恋」に登場する女吸血鬼クラリモンドから  
CN: エカルラート→スカーレットのフランス語(黄味がかった赤)

H03 ロイス:時雨京一郎(P親近感/N不信感)  
ワークス:UGN支部長 カヴァー:高校生 Dロイス:指定なし(通常ナンバーのみ)

一般家庭に生まれ育ったが、両親は自分のことに興味がなく、大きな愛を受けることなく育つ。  
自身の生まれた意味を見失っていた時、恩人の男の子と出会う。  
仲良くなり、いつだったか彼はオーヴァードであること、ブラム=ストーカーであることを告げた。  
この世界から抜け出して、人とは違う何かとして一緒に生きよう、そう言われ彼の牙を首に受け入れた。  
「感染」した彼女はオーヴァードに覚醒、家を出てUGNに保護される。  
他の者を守るといふ生きる意味を知った彼女はUGN、また、彼のために尽力した。  
しかし彼は任務中に殉職した。  
連れ出してくれた恩人の彼のためにも、と活動をつづけ、  
功績が認められ支部長としての地位に収まることとなった。